

令和7年9月24日（水）に土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。

教職員以外の視点をいれて密度を濃く児童生徒の安全を守ることができるように、学校運営協議会の委員の皆さんにもお声がけをし、避難訓練の参観と校舎内の安全点検をお願いしました。

関口様、福田様、久保田様の3名の委員の方に御参加いただき、次のようなお話がありました。

【避難訓練について】

- 子どもたちはとても落ち着いて避難することができていた。
- 火災の際はどこに避難するのか。
 - ・ 分校の校舎で学習している児童生徒は北駐車場に、西中学校で学習している際は西中のロータリーに分かれて避難をします。
- 土地がすり鉢状になっており、西から来た水が東武線の線路方面に向かって川のように流れていく。坂の下のパン屋の横の家は、H22年度に床下浸水している。
- 災害時に引渡しになった場合、保護者の居場所から分校までの間で浸水やがけ崩れが起きると、迎えに来られない状況が考えられる。児童生徒は今日は落ち着いていたが、長時間の待機になると落ち着かなくなることが予想される。どう落ち着かせるか。ストレスや緊張をやわらげるような生徒同士のやりとりや、教員からの励ましが大切。
- 日吉町の自治会館に避難できる。100人くらい入ることができる。毛布も50枚程度ある。二次避難が必要なときは遠慮なく連絡してほしい。



避難の際のみならず、引き渡しになった際も様々な条件を考慮して検討する必要があると、お話を伺って感じました。今後、検討をして、より安全な行動を確実にとることができるようにしていきたいと思います。

また、学校周辺の過去の被災の状況や避難場所など、貴重な情報をいただくこともできました。

安全点検では、教職員の点検だけでは気づくことのできなかつた点もご意見をいただくことができました。対策を検討していきたいと思っています。

ありがとうございました。

【安全点検について】

- 安全が確保されている点
 - ・ 廊下の壁のボードがしっかり固定されている。
 - ・ 画鋲がテープで固定されている。
- 改善・対策が必要な点
 - ・ 自家発電機がない。（医療的ケア児への対応が必要）
 - ・ 職員室などの棚が固定されていない。
 - ・ 教室の清掃ロッカーが固定されていない。ヘルメットをかけてあるクラスもあるので、ヘルメットをとるときに引っ張ると倒れる危険性がある。
 - ・ 駐車場への坂道の両壁は定期的に確認が必要。下に土が溜まっていたり、隙間から水が出ていたりするときは要注意。